

帰国30周年記念27次会の報告

2017年11月28日

幹事 荻無里

11月25日～26日にかけての帰国30周年記念の27次会は、昨年計画した通り那須大丸温泉：休暇村那須に於いて18名の参加で行われました。

今回の27次会は、大きく3つのグループでの集合となりました。27次会の定番である「列車で行く温泉」ツアー組、「多少距離はあってもドライブ」のマイカーor「どうせならもう1泊」の前泊組、そして現地組です。新幹線（なすの号）は土曜の午後なのに10号車はほぼ貸し切り状態でした。これなら大宴会ができるかとも思いましたが、いつぞやの秋田のようなことはありませんでした。アツという間に那須塩原に着いて、迎える宿のマイクロで出発となりました。

宿には既にタキさん・前泊組が到着していて早速入浴しました。グレちゃんの神輿担ぎはありませんでしたが、それぞれに温泉と眺望を満喫できました。風呂上がりから恒例の0次会が208号室で行われ、1回目の近況報告がありました。この時には既に2次会用の各地の地酒・特産品が並びました。最後に青ドクが到着して全員が揃いました。

予定通り18時からの宴会場で1次会が行われました。先ず今年2月に亡くなった佐野さんのご冥福を祈り黙祷しました。続いて吉田隊長のご挨拶、内藤隊長の乾杯で始まりました。しばらく懇談・会食（3010運動を実行）の後、恒例（高齢）の1人一言が、これもまた恒例の秋田弁を多用する方から順次行われました。内藤隊長から何回か「質問」の挙手があり、それぞれに忘れていました。予定の21時少し前には宴会場の1次会をお開きにして208号室に移動しました。この2次会はいつも通り31年前にタイムスリップします。特に今回はみずほ基地の話題が多かったように思います。途中で休んだ人もいましたが、2次会のお開きは予定時刻をはるかに超えた、1時半だったと思います。

翌日は朝食後付近を散策しました。休暇村那須は日本百名山のひとつ茶臼岳の南麓、標高1,200mに位置していますが、すぐ近くにスキー場があり、そこはこの春登山講習会に参加した県立大田原高校山岳部の生徒ら8人が亡くなった雪崩事故現場でした。献花台は既になくなっていましたが、青ドクから詳しい説明を受けました。3月とはいえ冬山、南極もそうですが事故だけは避けなければとの思いで山に向かって祈りました。

宿を後にする前に茶臼山・剣が峰をバックに集合写真を撮りました。那須塩原駅では計画した通り昼食宴会を青ドクお勧めのそばの美味しいお店で開催できました。吉田隊長は米寿を迎えてますますお元気、次回も参加のお話がありました。現役組が毎年減少しますが、その分充実した27次会にできる筈です。幹事から次回は有馬温泉、念願の関西開催を提案し了承されました。どうぞお楽しみに。

各地の地酒・おつまみなど差し入れもたくさんいただきました。予定外の一升瓶を含め、ありがとうございました。例年通りとにかく本当に楽しい2日間でした。ご参加いただいたお1人おひとりに深く感謝します。